



社協だより

第 89 号

令和 5 年 7 月 1 日発行

発行 者

社会福祉法人

銚田市社会福祉協議会

会 長 岸 田 一 夫

編 集

調 査 広 報 委 員 会

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL 0291-32-5831

ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>



『ひとり暮らし高齢者サロン』

毎月楽しく開催中!

社協では、在宅で暮らす70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、孤独感の解消や健康の保持増進などを目的に、旭地区・銚田地区・大洋地区それぞれで毎月1回、ひとり暮らし高齢者サロンを開催しています。

「おはようございます」のあいさつから参加者同士の交流がはじまり、健康相談やシルバーリハビリ体操、レクリエーションなどを行い、さらに皆さんとおいしい食事を囲みながら楽しいサロンの時間を過ごします。

帰り際には「また来月会いましょう」と、お互いに約束を交わし、また来月このサロンで会えることを楽しみに帰路につきます。

同じ境遇ならではの気持ちや悩みなど、参加者同士で共感し、そこから見える笑顔もあり、このサロンを通して笑顔豊かな高齢者がひとりでも多くなることを願っています。

参加ご希望の方は、社協または地区の民生委員までご連絡ください。

参加費 300円

希望者には送迎があります



このマークのついている事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。

令和 4 年度 事業 報告 (一部抜粋)

周知・広報事業

- ◆ 社協だよりの発行 (年4回発行)
- ◆ 第8回銚田市社会福祉大会の開催 (会長表彰166名、10団体 感謝状7名6団体)

自主財源の確保

- ◆ 会員募集事業 一般会員7,670千円、特別会員1,960千円、団体会員2,240千円
- ◆ 赤い羽根共同募金運動 11,194,131円
- ◆ 善意銀行の運営 1,603,142円 73件

ボランティアの育成と推進事業

- ◆ ボランティア養成講座 (延べ59名)
- ◆ ウェルフェアサマースクール開催 (延べ49名)
- ◆ 福祉活動校支援事業 (市内小中学校7校助成)
- ◆ 福祉体験支援事業 (市内小学校 児童424名)

高齢者福祉推進事業

- ◆ 車いす等・福祉車両貸出事業 (車いす等100件、福祉車両183件)
- ◆ ひとり暮らし高齢者サロン事業 (36回延べ505名)

低所得者福祉推進事業

- ◆ あつまれ! みんなの食卓応援事業 (第3回: 85世帯 第4回: 88世帯 第5回: 81世帯)
- ◆ やさしさのかけはしプロジェクト (食材支援122件)

- ◆ ほこたサンタがやってくる (50世帯)

障がい者 (児) 福祉推進事業

- ◆ 就労継続支援B型「のぞみ」運営
- ◆ 地域活動支援センター「スマイルハウス」運営
- ◆ スマイルフェスティバルINほこた (153名)

ひとり親世帯等支援事業

- ◆ 子育て支援プロジェクト (213世帯、320名)
- ◆ 新入学児童祝品事業 (24名)

地域・在宅福祉推進事業

- ◆ 生活支援体制整備事業
- ◆ みんなで支え合いサービス事業 (サービス実施件数169件)
- ◆ 心配ごと相談事業 (年12回、延べ86件)
- ◆ 地域福祉活動推進費補助 (行政区: 15区 学校区: 3区)
- ◆ ふれあい電話事業 (延べ: 414名)
- ◆ ふれあいいきいきサロン事業 (31地区に助成)

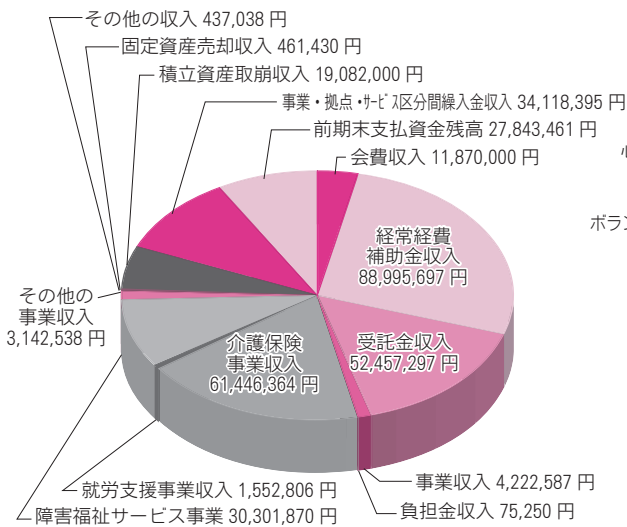
居宅介護事業

- ◆ 居宅介護支援事業
- ◆ 訪問介護事業
- ◆ 障害福祉サービス事業

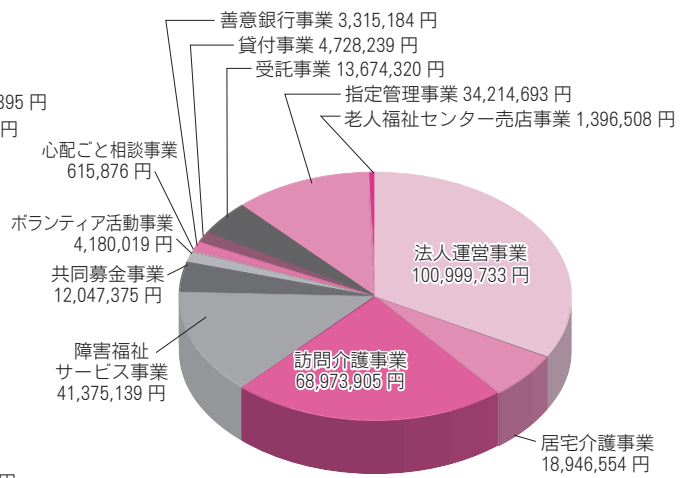
●詳しくは、ホームページをご覧ください

令和 4 年度決算報告

収入合計 336,006,733円



支出合計 304,467,545円



次年度繰越金 31,539,188円

令和 5 年度 社協会員募集のお知らせ

地域に暮らす人々が、安心して、互いに支え合い、かけがえのない存在として暮らすことができるまち。そんなまちづくりにむけて、銚田市社協は、日々活動しています。皆様から寄せられた会費は、社協が実施する様々な福祉事業の大切な財源となっています。ご加入を宜しくお願いいたします。

《会員種別》

- 一般会員: 1口 1,000円
- 特別会員: 1口 5,000円
- 法人・団体会員: 1口 10,000円

お知らせ

～スマイルチャレンジinほこた（親子パラスポーツ体験会）開催のお知らせ～

内容：親子でポッチャを楽しもう！
期日：令和5年8月26日（土）
会場：大洋公民館（銚田市汲上2601番地）
対象者：市内在住の18歳以下の障がい有者およびその家族（定員40名）
参加費：無料
申込期限：8月18日（金）まで
申込方法：QRコードまたは電話でお申し込みください。

日程：9：30 受付
 10：00 開会・あいさつ
 10：10 準備体操（10分）
 10：30 パラスポーツ体験
 【ポッチャ】（90分）
 12：00 閉会



問合せ：障害居宅介護グループ TEL:0291-32-2827

～スマイルフェスティバルinほこた開催のお知らせ～

期日：令和5年11月3日（金・祝）10：00～14：30
会場：銚田総合公園体育館（銚田市当間2331番地）
対象者：市内在住または在勤の障がい者（児）および介護者
 ※自主参加できる方
参加費：無料
申込期間：9月4日（月）～10月13日（金）

申込方法：電話またはFAXでお申し込みください。
内容：パラスポーツ体験
 レクリエーション
 抽選会

問合せ：障害居宅介護グループ TEL:0291-32-2827
FAX:0291-32-5832

次長兼旭支所長 堀部 啓一

4月1日付人事異動



事務局長兼大洋支所長
 米川 弘二
 てまいるたい
 と思ひますの
 で、どうぞよ
 ろしくお願ひ
 申し上げます。

今日の社会福祉ニーズは、人口構造の変化や社会とのつながりの希薄化などから、内容も多様化・複雑化しており、社協の役割もますます重要となっております。
 市民の皆さまに社協の活動をご理解いただけるよう、地域の皆さまや関係団体と連携し円滑な運営を図ることで地域福祉の推進に努めます。

この度、市の人事異動に伴いまして、事務局長に就任いたしました。

事務局長就任あいさつ

アーチェリー競技で石山寛義さんが県大会優勝
 令和5年5月13日（土）に笠松運動公園で、令和5年度茨城県障害者スポーツ大会アーチェリー競技が行われ、銚田市身体障害者福祉協議会より出場した石山寛義さんが優勝いたしました。



【銚田市リハビリ体操指導士会】
 シルバーリハビリ体操指導士は「障害をおつても年をとつても人間らしく暮らし、最後まで人間らしくある」リハビリの理念のもと、県立健康プラザ管理者 太田仁史先生の下で養成されました。
 銚田市リハビリ体操指導士会は「シル・リハ体操で健康寿命を延ばそう」をキャッチフレーズに活動を始めて、18年になります。
 体操指導士・教室数・参加人数

ボランティア通信

今号から
 銚田市で活躍する
 ボランティア団体を
 紹介します！



会長 川高 康郷

共に増加し、平成30年度には、指導士数70人・教室数40・年間教室開催延べ946回・参加人数延べ11,490人となりました。
 しかし、ここ数年、コロナ感染拡大の為、教室を一時閉鎖するなど思うように活動出来ませんでした。が、現在、回復基調にあります。
 又、自宅にこもりがちなお年寄りに対して、「シル・リハ体操やってほしい」という思いをどう伝えたらよいか課題となっています。
 これからも、市民・行政と協力し高齢者の介護予防・健康寿命延伸の為、活動してまいります。
 泣いて笑って、ちょっとだけ笑顔が多ければ、きっと、いい人生ですね。

福祉の「め」

本当の友達とは



旭南小学校 6年
日向寺 彩夢

私は、本当の友達とは、どうい
う友達なんだろうと考えることが
あります。それは、五年生のとき
に起こったことを思い出すからで
す。ちょっとしたことが、大きな
問題に発展し、今まで仲の良かった
友達同士の仲が悪くなってしま
ったのです。その原因の一つに、
私が見て見ぬふりをしたり、だめ
なことを先生や大人に言わなかつ
たりしたからなのではないかと思
うことがあります。その友達のこと
を本当に考えていたら、勇気を
もって言えたのではないかと思っ
たのです。

そのころから本当の友達につい
て考えるようになりました。
一つ目は、本音を言い合える関

係にあることです。相手のことが
大切で、心の底からその人のこと
を思っていれば、その友達に思っ
ていることを言えると思います。
しかし、友達も私のことを本気で
思ってくれなければ、成り立ちま
せん。

二つ目は、自分がつらいときに
ずっとそばにいて支えようとして
くれたり、うれしいときに喜んで
くれたりする友達です。

私は、本当の友達ができるよう
に、人に対して思いやりをもち、
相手のことを真剣に考えられるよ
うな人になりたいと思います。

六年生になって、クラスのみんな
と協力して、学校の行事を動か
していくようになりました。私の
クラスは、十三名なので、全員が
協力しなければならぬことがあ
ります。でも、うまくいかないこ
ともたくさんあります。

私は、このクラスの人は、全員
が友達だと思っています。でもま
だ、本当の友達にはなっていないと
思います。それは、自分の考えを
伝え合ったり、間違っていること

は「ちがうよ。」と言い合えたり
する仲間になっていないからで
す。これから卒業までみんな
協力し合っていく中で、本当の
友達になれるようにしていきたい
です。

「クリーン作戦を がんばろう」



銚田南小学校 5年
菅谷 勇斗

ぼくの住んでいる地いきには、
クリーン作戦というボランティア
活動があります。主な活動内容は、
地いきのごみ拾いです。クリーン
作戦の日は、早起きをして、お母
さんと出かけます。ごみぶくろと
火ばさみをもって、ごみを集めな
がら一時間ほど歩きます。

クリーン作戦に初めて参加した
時、集まったごみの多さにとても
おどろきました。集まったごみは、
ペットボトルのごみやたばこのす
いがらがほとんどでした。

ごみ拾いをした後は、町がきれ
いになりました。きれいになった

町を見ると、「やってよかったな」と
思いました。しかし、一年経つ
てクリーン作戦に参加すると、ま
たびつくりするくらいのごみが集
まります。だれがこんなにごみを
捨てているのか、ふしぎに思いま
す。ぼくは、「ごみはごみ箱に捨て
ます。外にごみ箱がないときは、
家に持って帰ってごみ箱に捨てま
す。だから大人がごみを平気で道
ばたに捨てるのはなぜなのか、ぼ
くには分かりません。

クリーン作戦に参加するようにな
ってからは、町に落ちてくるごみ
が気になるようになりました。ご
みが落ちていると残念な気持ちに
なります。自分が住んでいる地い
きにごみを捨てられるのはとても
悲しいです。

クリーン作戦はボランティア活
動なので、お金がもらえるわけ
はありません。しかし、「自分た
ちが住んでいる町をきれいにす
ることで、町を守っている」とおば
あちゃんが言っていました。ごみ
を集める活動だったら、ぼくたち
小学生でもできます。ごみ拾いは
小さな活動だけど、町を大切にす
るために、これからもクリーン作
戦に参加して地いきをきれいにし
ていこうと思えました。

「ありがとう」
家族への感謝



旭西小学校 6年
須加野 花色

私の家は、農家です。お父さんは栄養が豊富な野菜をたくさん作っています。お父さんが作った野菜はとってもおいしいです。毎日忙しいけれど、私に何か欲しいものがあつたらサプライズで買ってきてくれたり、分からない事を教えてくれたりする、自まんのお父さんです。

お母さんは、お父さんの仕事のお手伝いをしています。たくさんやる事があつても忙いけれど、いつも家族のみんなを笑顔にしてくれる尊敬するお母さんです。

そして私には、姉と兄がいます。姉は6才も年上だけど、時間があつた時は宿題で分からない所を細かく教えてくれたり、悩みの相談にのつてくれたり頼れる姉です。二人でおもしろいことをして大笑いする時間が大好きです。兄は体が

弱く、私よりも体が小さいけれど、私はいつも兄から元気やパワーをもらっています。私が、歌を歌うと拍手をして喜んでくれたり、おもしろいことをするとたくさん笑つてくれます。家族のムードメーカーで、そんな兄が私は大好きです。

私は一番年下なので、いつも家族のみんなに支えてもらっています。家に帰ると、「お帰り」と、お母さんがいつも笑顔で言つてくれる。夜はあたたかいご飯をおしやべりしながら食べる。私は、これが当たり前の生活と思うことなう、一日一日をもっと楽しく大切にしたいけつらなと思つています。なかなか日頃、感謝の気持ちを伝えるのは、はずかしいけれど、「ありがとう」と自然に声を出して言えるように心がけて生活していきたいと思つています。そして、お父さんには、つかれをいやしてあげるために、肩たたきやマッサージをしたり、お母さんにはお皿洗いや、せたくものをたたむなど、家事のお手伝いをしたりして、私も家族のみんなに感謝してもらえつ存在になりたいと思つています。

大好きなおばあちゃん



大洋中学校 1年
渡辺 愛果

私の周りには、支えてくれる人がたくさんいます。その中で一番感謝したいのは、おばあちゃんです。なぜなら、おばあちゃんは、どんな時でも私の味方でいてくれるからです。

私が落ち込んだときは、ゆっくり話を聞いてくれて、私の好きな物を作つてくれます。うれしいことがあつたときは、一緒に喜んでくれます。

そんな、やさしいおばあちゃんが好きです。

私の両親は仕事をしているので、私が学校から帰つたときはいません。そのかわり、家に帰つたら、おばあちゃんがおいしいご飯を作つて待っていてくれます。家に帰れば、おばあちゃんのご飯を作つて待っていてくれると、いつも思つて安心しています。おばあちゃんのおかげで、私はさびしい思い

をすることはありませんでした。ある日、おばあちゃんは足をケガして二週間ほど入院しました。夕飯は、お母さんが仕事を休んで作つてくれましたが、学校から帰つてきて、おばあちゃんのお「お帰り」がないのはさびしかったです。おばあちゃんのご飯が食べたくなりました。

おばあちゃんがないと、お母さんは仕事を休まなければならぬいし、私もさびしい思いをします。おばあちゃんのありがたみがよく分かりました。

退院したおばあちゃんは、最初は歩くのも大変だったのに早速ご飯を作つてくれました。

おばあちゃんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは、自分でできることは自分でやり、おばあちゃんが困つていたら助けたいです。今の自分にできることで、たくさん恩返しをしていこうと思つています。

大好きなおばあちゃん、本当にいつもありがとう。いつまでも元気であつてね。





「大好きな海と、これからも」
 保育園からは海が近いので、散歩に行くこともあります。先日たくさんゴミがあったので、遊んだ後にゴミ拾いをしました。みんなが大好きな海を、いつまでもきれいにしていきたいですね。
 大洋保育園 5歳児 (ゆり組)

保育所(園) 幼稚園児の作品

あとけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育てることも大切です。市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「楽しい夏祭り」
 保育園の夏祭り大会を楽しみにしている子どもたち。夏祭り大会を思いうかべ、楽しく手型や足型をとりながら期待を持って製作をしました。
 とりのす保育園 5歳児 (はくちょうA B組)



「一人じゃないよ仲間がいる♪」
 一人では難しいことも、みんなの力を合わせればできることも増える！これからも、お互いが優しい気持ちで関わり、困った時は一緒に考えて、みんなで支え合って楽しい園生活を送りましょうね！
 銚田市立旭幼稚園 5歳児 (きりん組)

多くの善意をありがとう

期間:令和5年3月5日~令和5年5月31日

【善意金】

- 福祉一般へ預託

田山スポーツ	2,432円
虹(傾聴ボランティア)	822円
銚田地区法人会青年部	10,000円
株式会社昭和観光	55,000円
- 児童福祉へ預託

片岡美乃莉様	2,500円
--------	--------

桜本区(第1回桜本ふれあい祭り) 22,430円
 かさい商店 2,000円
 匿名 21,794円
 匿名 50,000円
 匿名 25,914円



【使用済切手・テレフォンカード等】

本澤千英子様	使用済切手	匿名	日用品6点	
大洋設備工業株式会社	使用済切手	匿名	ぞうきん38枚	
銚田市地域女性団体連絡会	使用済切手	匿名	タオル等6点	
ゆずり葉	使用済切手	匿名	肌着等2点	
銚田市銚田地区民生委員児童委員協議会	使用済切手	匿名	日用品56点	
飯島畜産株式会社	使用済切手	匿名	タオル19枚	
銚田おんやくの会	使用済切手	匿名	日用品3袋	
及上郵便局	使用済切手	匿名	日用品5点	
かさい商店	使用済切手	匿名	タオル205枚	
更生保護女性会	使用済切手	匿名	介護用品5点	
香取神社清掃奉仕の会	未使用切手	匿名	タオル15枚	
匿名	使用済切手	匿名	シルバーカー1台	
匿名	使用済切手	匿名	日用品3点	
匿名	使用済切手	匿名	ぞうきん20枚	
匿名	使用済切手	匿名	日用品3点	
匿名	使用済切手	匿名	●やさしさのかけはしプロジェクトへ預託	
匿名	使用済切手	匿名	J Aほこた	
伊藤正巳様	使用済切手	匿名	保存食品27点	
東洋羽毛北関東販売株式会社茨城営業所	使用済切手	匿名	保存食品77点	
大川賢司様	使用済切手	匿名	保存食品14点	
匿名	使用済切手	匿名	米30キロ	
匿名	使用済切手	匿名	保存食品3点	
匿名	使用済切手	匿名	匿名	保存食品26点
匿名	使用済切手	匿名	匿名	保存食品23点
匿名	使用済切手	匿名	匿名	保存食品3点
匿名	使用済切手	匿名	匿名	保存食品8点
匿名	使用済切手	匿名	匿名	保存食品3点
匿名	使用済切手	匿名	匿名	保存食品20点
匿名	使用済切手	匿名	匿名	保存食品27点
匿名	使用済切手	匿名	匿名	保存食品7箱
匿名	使用済切手	匿名	匿名	保存食品18点
匿名	使用済切手	匿名	匿名	玄米30キロ

【善意品】

石崎光男様	日用品1点
本澤千英子様	日用品8点
銚田舞踊クラブ	ぞうきん37枚
原田正美様	衣類等98点
大川賢司様	介護用品13点
菊地敏郎様	介護用品9点
移住者の会	草刈機1台
高田サロン・たまり場ほほえみ	ぞうきん100枚
伊藤正巳様	日用品18点
更生保護女性会	タオル4枚
	カーネーション6点



※掲載地区を募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

手と手を つなぐ 地域づくり
 (地域福祉活動推進事業)

社協では、地域が自主的に実施する交流事業や健康づくり事業等に対して、補助金を交付しています。今回はその中から一地区をご紹介します。

第1回桜本ふれあい祭り
 桜本地区では、住民の皆様のご健勝と更なるご活躍、そしてコロナ禍等で深まりつつある地域コミュニティの希薄化の回復を願い、4月2日「桜本ふれあい祭り」を行いました。

当日は天候にも恵まれ、春風の心地よい中、五人の子どもたちの開会宣言により、新山車の町内特別巡行からスタートしました。

新築の桜本公民館内では、桜友の会による「リハビリ体操教室」や「輪投げ大会」、桜本観音さま付近の広場では、「観音さま」で息災を願う人々、展示された山車台座での賑やかな祭り囃子やひよっとこ踊りと福のある撒きもの、区民の皆様から提供された未使用物品や新鮮野菜のパザー、消防車の展示、キッチンカーの出店、そして各種ゲーム等、町内が久しぶりに活気づいたミニ縁日でした。閉会では、この祭りを第2回、第3回と続けたいとの喜びの声が多く寄せられました。

桜本副区長 石崎 孝

視覚障がいなど不自由な方へ...

視覚障がいなど不自由な方へ、点字ボランティアが点訳、音訳ボランティアが朗読した「社協だより」をお届けしています。希望される方は、銚田市社会福祉協議会ボランティア活動センターへお申込みください。

